

## 令和 2 年笛吹市議会第 4 回臨時会

10 月 25 日に執行されました笛吹市長選挙、笛吹市議会議員選挙の後、初めての臨時会の開会にあたり、私の市政運営に対する所信を申し上げます。

私は市長選挙におきまして、多くの市民の皆様から負託をいただき、再び市政運営の重責を担うこととなりました。

私が生まれ育ち、愛してやまない笛吹市の市政を、引き続きらせていただくこととなり、その責任の重さに改めて身が引き締まる思いでいます。

また、議員各位におかれましては、笛吹市議会議員選挙において当選されましたことに、心からお祝いを申し上げますとともに、2 元代表制のもと、市政発展のために今後とも力を合わせていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、私は、本市に暮らす誰もが幸せを実感し、心にゆとりを持ち、優しさあふれるまちにしたいとの思いから、第二次笛吹市総合計画において、「ハートフルタウン笛吹～優しさあふれるまち～」を将来像に掲げ、三つの基本目標のもとに施策、事業を展開しているところです。

2 期目のスタートラインに立った本日、新たに取り組みたい施策や事業のうち主なものを、第 2 次笛吹市総合計画の基本目標ごとに整理して申し上げます。

基本目標 1「幸せ実感 心豊かに暮らせるまち」では、働きながら子育てができる環境を整える病児病後児保育施設の市内への設置、小中学校におけるトイレの洋式化、御家族がお亡くなりになった時の様々な手続きをワンストップで支援するおくやみコーナーの開設、サッカーやラグビー、軽スポーツなどができる多目的芝生グラウンドの整備、照明の LED 化のリース方式による一斉更新や地球温暖化に対応した空調設備の整備を行う社会体育施設の快適化、郷土館や美術館に特色を持たせた展示の差別化を図る文化財施設のリニューアルなどに取り組めます。

基本目標 2「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」では、空き店舗が目立つ古びた飲食店街を再活性化する石和温泉郷の店舗のリノベーション支援、愛犬を連れて旅をしたいという人のニーズに対応し新たな誘客につなげる環境整備、映像や光の空間演出により華やかにさくら温泉通りを彩るプロジェクションマッピング、ビデオゲームによる対戦をスポーツとして捉え行われる e スポーツやスイーツを楽しみながら走るマラソンなど新たなスポーツイベントの開催、モモせん孔細菌病の徹底防除、他の産地に打ち勝つ品質向上と販売戦略により桃・ぶどう日本一の郷「笛吹市」の更なるブランド化、サテライトオフィスの誘致や本社機能の移転を目指した環境整備によるリニア効果の最大化、中部横断道や新山梨環状道路の開通など新たな幹線道路ネットワークによる立地条件を生かした企業誘致、納税額の増加に向けた取組を通して多くの人に笛吹市に関心を持ってもらえるようふるさと納税を活用したシティプロモーションなどに取り組めます。

基本目標 3「幸せ実感 100 年続くまち」では、災害対策を最重要課題として、「防災新

時代、命を守るまちづくり」を掲げ、自助、共助、公助の役割を明確にし、それぞれが機能する仕組みづくり、有料指定ごみ袋を含めたごみ処理に係る手数料の総合的な見直し、道路の破損や防犯灯の不点灯、ごみの不法投棄などを市民の皆様スマートフォンなどのアプリから通報していただく市民通報システムの導入、交通の利便性や歩行者の安全性を向上するため市部本通りから笛吹みんなの広場を結ぶ道路の拡幅、石和温泉駅南口駐輪場の拡張などに取り組みます。

私は、市政は市民の幸せのためにあるべきという基本理念のもと、一貫して「市民ファースト」の市政運営に努めてまいりました。今後も、「市民ファースト」を基本とした、この考え方に変わりはありません。

これからも、市民の皆様と対話をしながら、今、申し上げた施策や事業を着実に推進するとともに、新たな課題にも積極果敢に取り組み、市の将来像「ハートフルタウン笛吹」を実現するため、失敗を恐れずチャレンジを続けていきます。

議員各位には、市政運営に対しまして御理解と御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症につきましては、県内における感染者が急増しています。

また、市内でも複数の感染者が確認されていることから、感染防止対策の徹底を呼びかけるとともに、今後も、市民の皆様が安心して暮らせるよう職員と一丸となって適時適切に対処してまいります。

以上、私の所信表明といたします。

令和2年11月16日

笛吹市長 山下 政樹